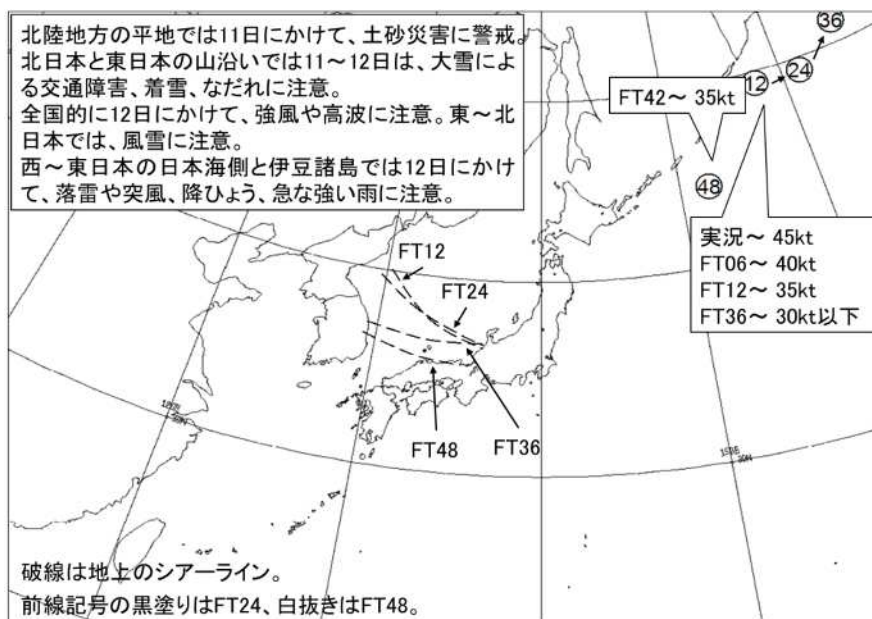


1. 実況上の着目点

- ① 日本付近は西高東低の気圧配置となっている。北日本の山沿いを中心に3時間に3~5cmの降雪を観測。本州日本海側では1時間に5mm前後の降水を解析。また、北日本を中心に強い風が吹き、波が高くしけとなっている所がある。
- ② 日本海西部に地上のシアーラインがのびている。周辺では1時間に5mm前後の降水を解析。
- ③ 伊豆諸島付近は地上の気圧の谷となっている。周辺では雷を検知し、1時間に20mmの強い雨を解析。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 10日は大陸の高気圧が東シナ海~西日本に張り出し、西高東低の気圧配置は緩み、山沿いを中心とした降雪は弱まる。一方、本州日本海側の平地では、11日にかけて雨となる。これまでの雨により地盤の緩んでいる所があるため、北陸地方の平地では11日にかけて、土砂災害に警戒。
- ② 500hPa5160m付近のトラフに対応した低気圧が、11日に千島近海を東北東進。日本付近は11~12日は、冬型の気圧配置が強まる。850hPaで、北日本には-15℃以下、西日本には-6℃以下の寒気が流入し、東~北日本の日本海側の山沿いでは、大雪となる所がある。東~北日本の山沿いでは11~12日は、大雪による交通障害や着雪、なだれに注意。また、西日本日本海側の平地でも降雪となり積雪となる所がある。西日本日本海側の平地では11~12日は、積雪や路面凍結による交通障害や着雪に注意。
- ③ 1項②の地上のシアーラインは、10日は日本海を北上し北陸付近にのびる。その後、2項②のトラフ通過の影響で、11~12日は日本海を南下し、西日本の日本海側にのびる。シアーライン周辺では上空の寒気の影響で、大気の状態が不安定となる。また、引き続き伊豆諸島付近は12日にかけて、地上の気圧の谷となり大気の状態が不安定となる。西~東日本日本海側と伊豆諸島では12日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ④ 2項②の冬型の気圧配置により、全国的に気圧の傾きが大きくなり、強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高くなる所がある。また、北日本では10日は、気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなりしけとなる所がある。北日本では12日にかけて、西~東日本では11~12日は、南西諸島では12日は、強風や高波に注意。東~北日本では風雪に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(06時からの24時間) : 多い所(100mm以上)はない。

② 波浪(明日まで) : 北海道5、東北・北陸・近畿・中国3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。